

## ゲノム編集技術と社会に関する検討分科会

平成 29 年 11 月 26 日現在

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
渡辺 美代子	国立研究開発法人科学技術振興機構副理事	副会長、 第三部会員
藤原 聖子	東京大学大学院人文社会系研究科教授	第一部会員
石川 冬木	京都大学大学院生命科学研究科教授	第二部会員
澁澤 栄	東京農工大学大学院農学研究院教授	第二部会員
石井 哲也	北海道大学安全衛生本部ライフサイエンス系研究安全担当教授	連携会員
須藤 靖	東京大学大学院理学系研究科物理学専攻教授	連携会員
阿久津 英憲	国立研究開発法人国立成育医療研究センター研究所再生医療センター生殖医療研究部部長	特任連携会員

## 【参考人（サイエンスアゴラ企画御登壇者）】

苛原 稔	徳島大学大学院医歯薬学研究部産科婦人科学分野教授
村山 圭	千葉県こども病院代謝科部長
宮野 きぬ	NHK 国際放送局ワールド・ニュース部チーフ・プロデューサー

科学と社会委員会分科会の設置について

分科会等名：ゲノム編集技術と社会に関する検討分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	科学と社会委員会
2	委員の構成	10名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>ゲノム編集技術は様々な医療応用が期待される一方で、生命倫理に係る問題も指摘されている。</p> <p>日本学術会議では、第23期の課題別委員会「医学・医療領域におけるゲノム編集技術のあり方検討委員会」においてゲノム編集技術を医療に用いることの生命倫理上の問題点などを検討し、9月に提言「我が国の医学・医療領域におけるゲノム編集技術のあり方」を発出した。</p> <p>それを踏まえ、本分科会においては、ゲノム編集技術の課題と社会の関わりに関して、本年11月に開催が予定されているサイエンスアゴラにおいてシンポジウムを開催し、市民目線で議論を深めていくことを目的とする。</p>
4	審議事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゲノム編集技術と社会との関わりについての検討事項の整理</li> <li>・ 公開シンポジウムにおける意見交換の進め方に関すること</li> </ul>
5	設置期間	平成29年10月30日～平成30年3月31日
6	備考	※新規設置